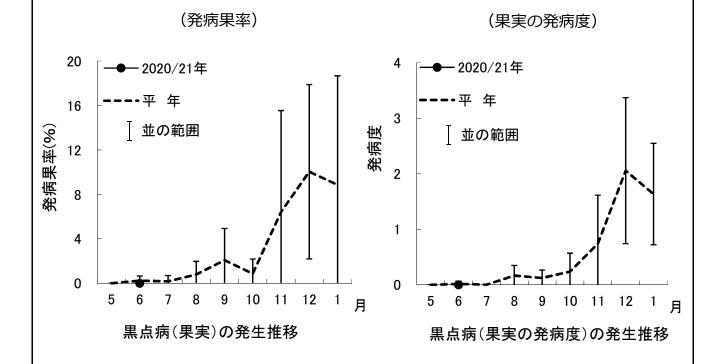
令和 2 年度	7 月予報				
作物	かんきつ(タンカン)			地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病				
予報	7 月の発生量(平年比)	並		(
	6 月からの増減傾向	7			*
予報の	6 月の発生量(平年比)	並			
根拠	その他 (気象要因など)	平年の発生量の	D推移(↗)		
調査結果					
	(発病果率)		(果	昊実の発病度	₹)
12	── 2020/21年	3	2020	/21年	
10	·━∙平年 ┰ Т		平 经	華 .	т
% 8	並の範囲	T 概 ²	├ ∐ 並の!	範囲 T	
8 6 4 2 -		新 新 新 新 北 1			
0 5	6 7 8 9 10 11 かいよう病(果実)の発生推	0 12 1 É移 月 か	5 6 7 いいよう病(果		0 11 12 1)の発生推移 ^月
	(発病葉率)		(₫	葉の発病度)	1
25	2020/21年 平年 「並の範囲 5 6 7 8 9 10 11 12	Ĭ 1 2 3 _ Щ Щ	6 4 2 0 4 5 6	7 8 9 10	
	かいよう病(葉)の発生	H	かいよう	病(葉の発症	病度)の発生推移

防除のポイント

- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口(風傷)は感染を助長する ことから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、 ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

作物	かんきつ(タンカン)		地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病			
予報	7 月の発生量(平年比)	项		
	6 月からの増減傾向	\rightarrow		
文却の	6 月の発生量(平年比)	(発生なし)並		
予報の 根拠	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移(→)		



防除のポイント

・周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。

・ 発生ほ場率:0%(平年7.7%)

・ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

令和 2 年度	7 月予報			
作物	かんきつ(タンカン)		地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病			
予報	7 月の発生量(平年比)	並		
	6 月からの増減傾向	\rightarrow		
 予報の	6 月の発生量(平年比)	(発生なし)並		
根拠	その他 (気象要因など)	今後1か月の降水量が平年	F並の見込み	
調査結果	(2V.++ P.++)		/BD 0 3% in	: ====
	(発病果率)		(果実の発病	度)
8 T	─● 202	20/21年		── 2020/21年
7 - 6 -	 ∓	年	Ţ.	平 年
% 5	т I ж	型 0.4 ↑ の範囲 返 0.4 ↑		▋並の範囲
	1 **	縦		Ţ
(%)	, T	0.2	T T √	
1 0	▎ ▎ ▎ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	0.0		
5	6 7 8 9 10 11	12 1 5 6	7 8 9	10 11 12 1
	そうか病(果実)の発生推	移ですることである。	病(果実の発	病度)の発生推移 ^月
	(発病葉率)		(葉の発病度	₹)
5		/21年 0.2	-	━ 2020/21年
4	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T			━•平 年
8 3 -	- 並の値			並の範囲
掛 2		₩ T T T W W M M M M M M M M M M M M M M M	Т	
(%) 3 2 1 0	T. I.	0.0	· <u></u>	
4	5 6 7 8 9 10 11 12 そうか病(葉)の発生:	1 2 3 Ħ 4 5 6		11 12 1 2 3 月 生)の発生推移

防除のポイント

・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

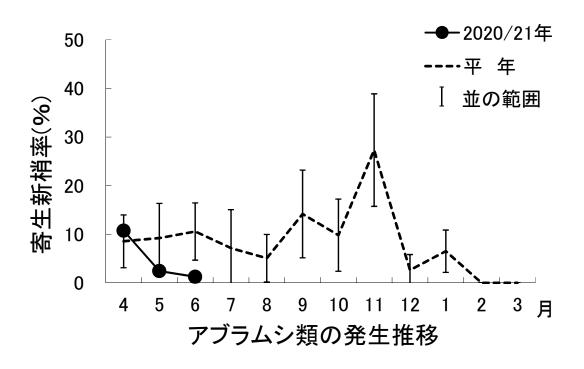
そうか病(葉)の発生推移



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 月 そうか病(葉の発病度)の発生推移

被害葉→

作物	かんきつ(タンカン)		地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ	類	£ 75	
予報	7 月の発生量(平年比)	並		
	6 月からの増減傾向	7		
マ 却 の	6 月の発生量(平年比)	やや少		
予報の 根拠	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移(ゝ)		



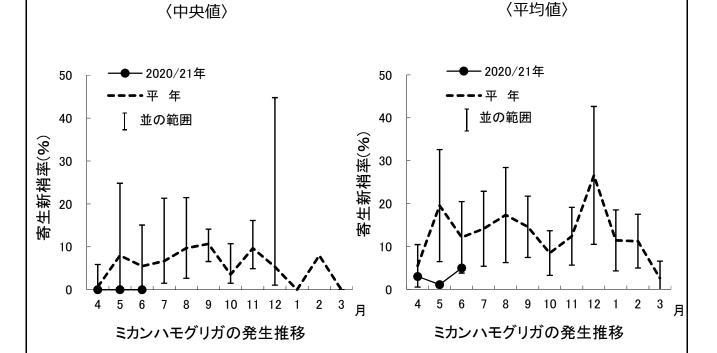
・ 発生ほ場率: 25% (平年64%)

防除のポイント

- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、 密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ(タンカン)		地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモ	グリガ		
予報	7 月の発生量(平年比)	並		The same
	6 月からの増減傾向	\rightarrow		
文却の	6 月の発生量(平年比)	並		
予報の 根拠	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移(→)		



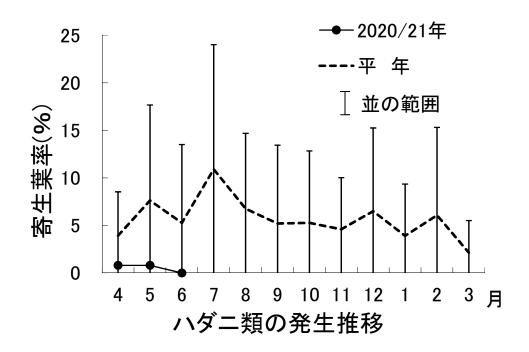
防除のポイント

・被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。

・ 発生ほ場率: 25% (平年63.2%)

・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ(タンカン)		地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダ二類			
予報	7 月の発生量(平年比)	並		
	6 月からの増減傾向	 ✓		
予報の 根拠	6 月の発生量(平年比)	(発生なし)並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移(♪)		



・ 発生ほ場率:0% (平年26.8%)

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状